

政策シート

(政策名) 超高齢社会への対応
(予算費目名) 老人福祉費

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

10年後の目標

- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
- ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人と人とのつながりをつくる社会の実現

◇政策の概要

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	3,587,940
	決算	
	事業費 (A)	3,518,500
	人件費 (B)	69,440
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
健康寿命の延伸 ※厚生労働省 発表 健康寿命	歳	男74以上 女77以上	目標	男74 女77
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業				5,600		0.8				
2	高齢者施設運営事業				365,702	360,102	0.8				
3	軽費老人ホーム運営事業				547,760	545,660	0.3				
4	敬老支援事業				276,629	267,529	1.1			0.5	
5	シニアクラブ支援事業				64,005	59,805	0.6				
6	高齢者社会参加促進事業				5,900	4,500	0.2				
7	高齢者社会参加促進事業				404,478	396,078	1.0			0.5	
8	高齢者生活支援事業				34,053	31,113	0.3			0.3	
9	高齢者生活支援ハウス事業				37,536	36,836	0.1				
10	シルバーサポート事業				2,962	1,562	0.2				
11	認知症施策推進事業	○	○		24,603	15,503	1.1			0.5	
12	外国人高齢者福祉手当支給事業				4,000	3,300	0.1				
13	ねんりんピック選手選考派遣支援事業(負担金)				14,914	11,414	0.5				
14	養護老人ホーム入所事業				1,007,822	1,006,422	0.2				
15	老人福祉施設支援事業				23,536	21,436	0.3				
16	老人福祉施設整備費助成事業(補助金)	○	○		704,900	696,500	1.2				
17	老人福祉施設整備償還費助成事業(補助金)				22,383	21,683	0.1				
18	高齢者住宅改造助成事業(補助金)				26,700	26,000	0.1				
19	番号制度対応・システム再構築事業				10,623	9,923	0.1				
20	高齢者福祉運営経費(一般諸経費のみ)				3,834	3,134	0.1				
21											
22											
23											
24											
25											
計					3,587,940	3,518,500	9.2	0.0	0.0	1.8	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業

◇事業目的・事業対象

老人福祉法に基づく高齢者保健福祉計画及び介護保険法に基づく介護保険事業計画を「はままつ友愛の高齢者プラン」として一体的に策定し、高齢者保健福祉施策を推進する。

◇事業の概要

平成26年度に策定した第7次高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画(計画期間:平成27~29年度)の進捗を管理する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H5	—	一般会計	法定受託事務	老人福祉法、介護保険法	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	5,600
人工	正規	0.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
健康寿命の延伸(歳)	—	男74・女77			男74以上・女77以上

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 高齢者施設運営事業

◇事業目的・事業対象

高齢者の心身の健康維持・増進を図るため、地域の高齢者の生きがい活動の拠点として、老人福祉法等に定める「老人福祉センター」、「介護予防拠点施設」等を設置し運営する。

◇事業の概要

【老人福祉センター】12施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
 湖東荘、江之島荘、湖南荘、竜西荘、萩原荘、可美荘、いたや、青龍荘、浜北高齢者ふれあい福祉センター、
 舞阪老人福祉センター、雄踏老人福祉会館さつき荘、雄踏老人福祉会館つつじ荘
 【介護予防拠点施設】3施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
 舞阪シニアプラザ陽だまり、細江介護予防センター、水窪高齢者交流センター
 【その他】
 施設整備事業、施設用地管理事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S46	—	一般会計	自治事務(その他)	老人福祉法、浜松市老人福祉センター条例 等	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	360,102
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	31,204
	一般財源	328,898
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	5,600
人工	正規	0.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
利用者数(人)	—	473,000			516,000

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 高齢者施設運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 軽費老人ホーム運営事業

◇事業目的・事業対象

低額な料金で家庭環境、住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な高齢者を入所させ、日常生活上必要な便宜を供与し、高齢者が健康で明るい生活を送れるようにすることを目的とする。

◇事業の概要

<佐鳴荘管理運営費>

浜松市立軽費老人ホーム佐鳴荘を設置運営する。

指定管理者:社会福祉法人三幸会

定員:50名

<民間軽費老人ホーム助成事業(補助金)>

軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対し、社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額を補助する。

施設数:15

定員:748名

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S39	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立軽費老人ホーム条例、軽費老人ホーム入所者負担軽減補助金交付要綱(ほか)	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	545,660
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	545,660
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,100
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
助成対象者数(人)	—	798			798

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 軽費老人ホーム運営事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 敬老支援事業

◇事業目的・事業対象

長寿を祝い敬老思想の高揚を図るとともに、高齢者の社会参加の推進、健康福祉の増進を図る。

◇事業の概要

1. 敬老祝金品贈呈事業

長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じて、敬老祝金及び敬老祝品を贈呈する。

(1) 敬老祝金

年度内88歳到達者(10,000円)、年度内99歳到達者(30,000円)

(2) 敬老祝品

年度内88歳到達者(菓子器・市長寿詞)、年度内100歳到達者(煎茶・額入り市長寿詞)

2. 敬老会等開催費補助金交付事業

敬老会を開催する自治会等に対して、対象者1人につき2,000円を限度として補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S43	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市敬老会等開催費補助金交付要綱	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	267,529
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	267,529
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		9,100
人工	正規	1.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.5

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
敬老会出席率(%)	—	40			50

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 敬老支援事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) シニアクラブ支援事業

◇事業目的・事業対象

高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動・事業を展開し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に寄与するシニアクラブ(老人クラブ)について、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援という観点から、その活動の実施及び推進を支援する。

◇事業の概要

シニアクラブ活動の支援を行う。

1. シニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に対する活動支援
 高齢者福祉の推進に寄与するシニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に補助金を交付する。
2. 単位老人クラブに対する活動支援
 - (1) 活動費の助成
 - (2) 高齢者の作品展開催事業
 高齢者の日ごろの学習成果を発表することにより、生きがいづくりの推進を図るため、作品展を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S39	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市老人クラブ活動費補助金交付要綱等	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	59,805
	決算	
	国・県支出	19,625
	市債	
	その他	
	一般財源	40,180
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		4,200
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
老人クラブ加入者率(%)	—	10			10

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) シニアクラブ支援事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 高齢者居場所づくり助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

高齢者が住み慣れた地域で仲間とともに活動する場の拠点となる集会所を利用しやすくすることにより、高齢者の社会参加の促進、生きがいを図る。

◇事業の概要

既存施設の集会所の集会室、トイレ、洗面所、台所、出入口その他の設備を、高齢者が安心して利用できるようユニバーサルデザイン化改修をする必要があると認められる場合、当該改修経費について補助を行う。

- ・補助対象者 自治会、町内会
- ・補助率 2分の1以内
- ・補助金額 上限額25万円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H25	H27	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者居場所づくり支援事業費補助金交付要	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	4,500
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	4,500
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		1,400
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
助成施設数(か所)	—	18			

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 高齢者居場所づくり助成事業(補助金)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 高齢者社会参加促進事業

◇事業目的・事業対象

高齢者の社会参加を促進し、福祉の増進を図るため、社会参加助成券を交付する。
 <交付対象者> … 次の要件をすべて満たす人
 ・年度内70歳以上到達者 ・交付年度の前々年度の所得金額が200万円未満
 ・交付年度の4月1日から交付申請時まで継続して市内に住所を有している

◇事業の概要

高齢者に対して以下の社会参加助成券の中から年度内にいずれかひとつを交付する。

<<券の種類>>

1. 遠鉄バス・電車共通カード(ナイスパス)
2. タクシー利用券
3. 天竜浜名湖鉄道乗車券
4. 鍼灸マッサージ券
5. 地域バス乗車券
6. 秋葉バスカード
7. ガソリン券(北区の一部・天竜区の一部)

<<交付金額>>

4,000円分(秋葉バスカードは3,300円分)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S49	H28	一般会計	自治事務(その他)	高齢者等に交付する社会参加助成券に関する規則	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	396,078
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	396,078
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		8,400
人工	正規	1.0
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.5

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
交付率(%)	—	100			

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 高齢者社会参加促進事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 高齢者生活支援事業

◇事業目的・事業対象

在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等に対して、日常生活上のサービスを行うことにより、自立した生活を支援する。

◇事業の概要

- ① 高齢者配食サービス事業
 - ・ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に食事を配食し、あわせて高齢者の安否確認を行う。
- ② 日常生活上の軽度援助事業
 - ・簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行うため、月8時間を上限として援助員を派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S50	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者地域支援事業実施要綱	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	31,113
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	1,200
	一般財源	29,913
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,940
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.3

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
配食サービス延利用食数(食)	—	81,500			87,100
軽度生活援助員延派遣回数(回)	—	1,325			1,625

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 高齢者生活支援事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 高齢者生活支援ハウス事業

◇事業目的・事業対象

高齢者に対して、介護支援、住居及び交流機会を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

◇事業の概要

施設数 4箇所(市内の社会福祉法人4法人に委託)
 定員 51名
 市内に居住する、原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が、原則として3ヶ月を限度として利用できる「生活支援ハウス」を設置運営する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H15	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市生活支援ハウス運営事業実施要綱	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	36,836
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	36,836
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
利用定員(人)	—	51			51
利用率(実利用日数÷(定員×年間日数)) (%)	—	50			50

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 高齢者生活支援ハウス事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) シルバーサポート事業

◇事業目的・事業対象

シルバーサポーターの派遣・養成により、シニアクラブの活動の活性化を図る。

◇事業の概要

①シルバーサポーターの派遣

シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織に、シルバーサポーターの派遣を行う。

活動内容:シルバーサポーターが訪問し、体操やゲーム、手芸、歌などのレクリエーション活動を行い、組織の活性化を図る。

②シルバーサポーター養成講座の開催

高齢者のグループに対して体操、ゲーム、趣味活動などの指導をすることができる市民を対象として養成講座を開催する。また、養成講座修了者に対してシルバーサポーター登録を勧める。

③シルバーサポーターフォローアップ講座の開催

現在すでに活動しているシルバーサポーターのレベルアップを図るための講座を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,562
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	1,562
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		1,400
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
シルバーサポーター派遣回数(回)	—	155			185

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) シルバーサポート事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 認知症施策推進事業

◇事業目的・事業対象

認知症に対する理解を深める広報・啓発とともに、認知症の高齢者が地域の中で生活するための支援者を養成することで、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進める。また、認知症高齢者に対する早期発見・早期治療を図るとともに、地域で認知症の人を支えるための支援体制の充実・強化を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.43】

- (1) 予防(重度化防止)
 - ・認知症対策モデル検証(認知症に関するさまざまな手法のうち、より効果的で適切な手法をモデル的に検証)
 - ・認知症自己チェックリストの作成(認知症の早期発見、早期受診を目的とした自己チェックリストを作成し配付)
- (2) 早期発見・早期治療
 - ・認知症ケアパスの作成(認知症のステージにあわせて利用できる地域の社会資源(ケアパス)を作成し配付)
 - ・認知症疾患医療センターの運営支援(鑑別診断、急性期治療等を実施する医療機関の指定と助成)
 - ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成(連携の推進役のサポート医、患者を診療するかかりつけ医を養成)
- (3) 本人・家族支援
 - ・キャラバン・メイトの養成・活動支援(認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトを養成)
 - ・認知症サポーターの養成(認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーター等を養成)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務(その他)		○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	15,503
	決算	
	国・県支出	6,501
	市債	
	その他	
	一般財源	9,002
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		9,100
人工	正規	1.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.5

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
認知症サポーター養成人数・単年度(人)	—	3,500			3,500
認知症サポート医養成累計人数(人)	43	26		40以上	75以上
認知症チェックリストの配布数・単年度(人)	—	66,000			75,000

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 認知症施策推進事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
43	<ul style="list-style-type: none"> モデル検証 チェックリストの作成 ケアパスの作成 医療センター運営支援 認知症サポート医・かかりつけ医の養成 キャラバン・メイトの養成・活動支援 サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> モデル事業の普及 チェックリストの配布 ケアパスの配付 医療センター運営支援 認知症サポート医・かかりつけ医の養成 キャラバン・メイトの養成・活動支援 サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> モデル事業の普及 チェックリストの配布 ケアパスの配付 医療センター運営支援 認知症サポート医・かかりつけ医の養成 キャラバン・メイトの養成・活動支援 サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> モデル事業の普及 チェックリストの配布 ケアパスの配付 医療センター運営支援 認知症サポート医・かかりつけ医の養成 キャラバン・メイトの養成・活動支援 サポーターの養成

事業シート (事業名) 外国人高齢者福祉手当支給事業

◇事業目的・事業対象

公的年金を受給できない外国人高齢者に対し福祉手当を支給し、福祉の増進を図る。

◇事業の概要

下記の支給要件すべてを満たす方に対し、月額1万1千円、年間13万2千円を年3回(8月、12月、4月)に分けて4万4千円ずつ支給する。

- ① 浜松市に住民として登録をし、1年以上継続して浜松市に在住している者
- ② 出入国管理及び難民認定法による永住許可を受けている者
- ③ 厚生年金その他公的年金を受給していない者
- ④ 国民老齢基礎年金の所得条件に準ずる経済状況にある者
- ⑤ 昭和8年4月1日以前に生まれた者

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H5	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市外国人高齢者福祉手当規則	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	3,300
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	3,300
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
支給人数(人)	—	26			26

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 外国人高齢者福祉手当支給事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) ねんりんピック選手選考派遣支援事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

高齢者の健康保持、増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与することを目的として開催される全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ浜松市選手団を派遣する。

◇事業の概要

政令指定都市については、国の要綱により選手の選考・派遣を行うことが規定されていることから、全国健康福祉祭浜松市実行委員会を組織し、選手選考・派遣等の業務を行う。

<開催予定(決定分)>

平成27年度:山口県 平成28年度:長崎県 平成29年度:秋田県 平成30年度:富山県

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H2	—	一般会計	自治事務(法令義務)	全国健康福祉祭開催要綱	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	11,414
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	11,414
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		3,500
人工	正規	0.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
開催種目における派遣種目の割合(%)	—	100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) ねんりんピック選手選考派遣支援事業(負担金)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 養護老人ホーム入所事業

◇事業目的・事業対象

経済的事情や家庭環境などにより、居宅で生活することが困難な者を養護老人ホームへ入所措置し、入所者が自立した日常生活を営むことができるようにする。

◇事業の概要

老人福祉法の規定に基づき、65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ入所させ、市は施設に対して地域区分や施設規模に応じた措置費を支払う。

負担金は、本人の収入に応じた額を算定し、本人から徴収する本人分と、入所前に親族が本人を扶養していた場合は、主たる扶養義務者として所得から負担金額を算定して徴収する扶養義務者分の二通りがある。

市内 6施設 定員420人
 組合立 1施設 定員50人
 その他市外施設有り

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S38	—	一般会計	法定受託事務	老人福祉法、浜松市老人福祉法施行細則	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,006,422
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	184,703
	一般財源	821,719
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	1,400
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
市内施設入所定員合計数(人)	—	420			420

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 養護老人ホーム入所事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 老人福祉施設支援事業

◇事業目的・事業対象

経済的事情や家庭環境などにより、居宅で生活することが困難な高齢者が入所する養護老人ホームの運営を支援し、円滑な運営と入居者への適切な処遇を図る。

◇事業の概要

<養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業(補助金)>
 加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対して必要な助成を行う。

<養護老人ホームとよおか管理組合負担金>
 養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対して、経費の応分の負担を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S37	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市養護老人ホーム入所者処遇改善事業費補助金交付要綱	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	21,436
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	21,436
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,100
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
助成対象施設数(か所)	—	6			6

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 老人福祉施設支援事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 老人福祉施設整備費助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

在宅での生活が困難な高齢者の生活場所を確保するため、老人福祉施設の整備を推進する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.44】

特別養護老人ホームの創設又は増築を行う社会福祉法人に対し、施設整備に係る経費を対象として補助金を交付し、施設の整備を推進する。

【特別養護老人ホーム】

- ・(福)藤花幸寿会 藤乃花 90床創設 + ショートステイ10床
- ・(福)公友会 三方原の里 80床創設 + ショートステイ20床
- ・(福)白梅福祉会 白梅下石田ホーム 40床増設 + ショートステイ20床
- ・(福)慶成会 グリーンヒルズ東山 50床増設
- ・(福)ほなみ会 南風 60床増設

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H22	—	一般会計	自治事務(その他)	老人福祉法、介護保険法	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	696,500
	決算	
	国・県支出	
	市債	684,700
	その他	
	一般財源	11,800
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		8,400
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
特別養護老人ホームの定員(人)	44	4,137		5,000	5,000
入所待機者のうち在宅重度者(人) ※各年8月1日現在	—	266			0

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 老人福祉施設整備費助成事業(補助金)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
	-----▶●			
44	特別養護老人ホーム整備床数 349床	特別養護老人ホーム整備床数 250床	特別養護老人ホーム整備床数 250床	

事業シート (事業名) 老人福祉施設整備償還費助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

社会福祉法人の老人福祉施設整備に伴う借入金の元利償還金の一部を助成し、安定した運営と施設福祉サービスの充実を図る。

◇事業の概要

合併前の浜北・天竜・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、整備に要した借入金の償還補助を行う。

(浜北)	・(福)大善福祉会 ・(福)天竜厚生会 ・(福)聖隷福祉事業団	多喜の園(特養増築) しんばらの家(特養) 浜北愛光園(特養増築)
(天竜)	・(福)天竜厚生会	やまびこデイサービスセンター
(佐久間)	・(福)さくま	さくまの里(特養)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H17	H37	一般会計	自治事務(その他)	浜松市社会福祉施設整備 償還費補助金交付要綱	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	21,683
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	21,683
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 老人福祉施設整備償還費助成事業(補助金)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 高齢者住宅改造助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

在宅の高齢者が安全で安心して日常生活を送れるように、住宅設備を改造することにより高齢者の自立の助長やその家族介護者の負担の軽減を図る。

◇事業の概要

60歳以上の心身状況等により住宅を改造する必要があると認められる高齢者が、住宅を改造する場合の費用の一部を助成する。

【対象者と助成額】

- 対象者① 市民税非課税の世帯
- 助成額① 工事費(対象経費)の3分の2以内で、75万円を限度
- 対象者② 市民税課税で前年分の所得税額が20万円以下の世帯
- 助成額② 工事費(対象経費)の3分の1以内で、75万円を限度

【対象となるもの】

既存住宅の居室・浴室・便所・台所・玄関・廊下等を高齢者の生活に適するように改造するための経費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H7	H29	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者住宅改造費補助金交付要綱	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	26,000
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	26,000
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
申請(助成)件数(件)	—	40			

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 高齢者住宅改造助成事業(補助金)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 番号制度対応・システム再構築事業

◇事業目的・事業対象

在宅福祉サービス等の運用に使用している「高齢者福祉システム」について、システム改修を行い、番号制度及び介護保険法改正に対応するもの。

◇事業の概要

- (1) システムの名称
 高齢者福祉システム
- (2) システムの概要
 市民台帳管理、決裁処理、施設入所管理、実態把握取込処理、介護保険事業(地域支援事業管理)、在宅福祉サービス管理、介護予防健診管理、地域高齢者調査管理、口座振替管理、地域包括支援システムとの連携、取込処理、マスタ管理
- (3) 更新を要する業務
 ①地域支援事業管理のうち、生活管理指導員派遣事業、生活管理指導短期宿泊事業の実績管理に関する部分
 ②在宅福祉サービス管理のうち、軽度生活援助員派遣事業の実績管理に関する部分

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H27	H28	一般会計	自治事務(その他)	番号法、個人情報保護法、介護保険法等	—	—

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	9,923
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	9,923
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 番号制度対応・システム再構築事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 高齢者福祉運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	3,134
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	3,134
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 高齢者福祉運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30

政策シート (政策名) 超高齢社会への対応

(予算費目名) 介護保険事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

10年後の目標

- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
- ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人と人とのつながりをつくる社会の実現

◇政策の概要

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇政策のコスト (千円)

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,168,413
	決算	
	事業費 (A)	1,135,793
	人件費 (B)	32,620
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
健康寿命の延伸 ※厚生労働省 発表 健康寿命	歳	男74以上 女77以上	目標	男74 女77
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	介護保険事業	○	○		1,168,413	1,135,793	4.3			0.9	
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					1,168,413	1,135,793	4.3	0.0	0.0	0.9	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 介護保険事業

◇事業目的・事業対象

高齢者が地域で自立した生活を送ることができるよう、「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」のサービスが切れ目なく一体的に提供される「地域包括ケアシステム」づくりを推進する。

◇事業の概要

- ・介護保険運営経費(新総合事業事前調査)
- 【重点戦略項目 No.56】
- ・介護予防事業(二次予防事業及び一次予防事業の実施)
 介護予防推進事業、元気はつらつ教室事業、運動器の機能向上トレーニング教室事業、ロコモーショントレーニング事業、訪問型介護予防事業、生活管理指導員派遣事業、生活管理指導短期宿泊事業、介護予防サービス対象者把握事業
- 【重点戦略項目 No.41】
- ・包括的支援事業(地域包括支援センターを委託方式で設置運営し、総合相談支援業務等の実施)
 地域包括支援センター運営事業、認知症施策推進事業
- ・任意事業(高齢者及び高齢者を介護している家族を支援する事業等の実施)
 家族介護継続支援事業、在宅高齢者家族等紙おむつ支給事業、家族介護慰労金支給事業、シルバーハウジング等入居者安心確保事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H18	—	特別会計	自治事務(法令義務)	介護保険法	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,135,793
	決算	
	国・県支出	522,817
	市債	
	その他	433,570
	一般財源	
	一般会計繰入金	179,406
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		32,620
人工	正規	4.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	0.9

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
ロコモーショントレーニング実参加者数(人)	56	2,500		10,000	10,000
介護予防事業延実施人数(人)	—	15,200			16,000
地域包括支援センター総合相談件数(件)	41	32,200		32,800	35,000
認知症地域支援推進員養成人数(人)		7		7	3

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 介護保険事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
56	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数2,500人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数5,000人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数10,000人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数10,000人
41	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務 三職種専門職員による 相談体制の強化	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務